

十日市場駅周辺

昭和54年(1979年)に周辺の土地区画整備事業とあわせて恩田川を臨む丘に十日市場駅が開業しました。駅周辺には、図書館や地区センター、高齢者施設などの公共施設が集積しているとともに、大学や高校などの教育施設、新治市民の森などがあります。

新治里山の道コース

Aコース(5.0km)

- 十日市場駅南口 → いいはる里山交流センター、旧奥津邸
- 旭谷戸(新治市民の森) → 池ぶち広場(新治市民の森)
- 梅田川橋 → 梅田川川い → 三保念珠坂公園 → 一本橋メダカ広場
- いいはる里山交流センター、旧奥津邸 → 十日市場駅南口

Bコース(3.8km)

- 十日市場駅 → バス停:「十日市場駅」若葉中央行き
- バス停:霧が丘センター前下車
- 霧が丘公園(ログハウス) → 見晴らし広場(新治市民の森) → 旭谷戸
- いいはる里山交流センター(旧奥津邸) → 萱場公園 → 霧が丘公園
- バス停:萱場公園入口「十日市場駅」行き

GUIDE



1 いいはる里山交流センター(つどいの家)

「ここ横浜?」思わず声にだしてしまう広大な里山と古民家。まるで、田舎に旅したような気分になります。

里山を形づくっている水・緑環境を保全・育成しながら、里山を楽しみ、体験し、学び、活動する方が交流を深めることができます。

いいはる里山交流センターでは、谷戸の風景を楽しみながら休憩できるほか、イベントの開催や情報発信を行っています。隣接する、新治・三保市民の森の散策とあわせて、ぜひお立ち寄りください。

●開館時間:9時~17時 ●休館日:第4月曜日(祭日の場合は、火曜日)年末年始 ●イベント開催等については、ホームページ「いいはる里山交流センター」を参照してください。 ※駐車場は、ございまんでの交通公共機関をご利用ください。



2 旧奥津邸

江戸時代末期に建築された長屋門を持つ旧奥津邸があります。



3 新治市民の森

昭和40年代後半から始まった宅地開発により、徐々に緑地が消失していきました。そんな中でこの新治市民の森は、横浜市の北部で唯一まとまって残された、横浜の原風景を思い起こさせる森です。



4 一本橋メダカ広場

こどもの頃を思い出す様な、なつかしい風景が見られる場所は、緑区内の貴重な宝物です。春は青葉、桜、藤や竹林の色彩と田植えの風景。夏は蛙やひぐらし等の虫の声やこども達の川遊びの風景。秋は黄金色に染まった稲穂や稲刈風景が残っています。



5 三保念珠坂公園

こども達が思いっきり自由に遊べる広場や斜面、樹林がある公園で「プレイパーク」が定期的に開催されています。

*プレイパークとは、子ども達が思いっきり遊べるように禁止事項をなくし、自分の責任で自由に遊ぶことを大切に公園での活動です。(三保ねんじゅ坂プレイパークホームページ参照)



虫の被害を防ぐために

- なるべく素肌を露出させない。(長そで・長ズボン・帽子)
 - 素手で触らない。
 - 手を洗う。
- 【ハチに刺されないために】
夏から秋にかけてハチが盛んに活動する時期です。イタズラしたり、驚かせたりしなければ刺されません。スズメバチは、いずれの種も黒色に対して激しく攻撃します。白色や黄色、銀色に対しては、反応は弱く、攻撃しにくくなります。(ただし、たえ白色であっても、いったん攻撃を受けたあとでは安全とは書けません。)万が一刺されたら患部を水で十分に洗い流してから冷やします。折ヒスタミン軟膏を塗ると効果的です。
※体調不良の発生時、又は、ハチに刺されたことがある方は、医療機関を受診して下さい。

新治市民の森ルート案内

- 池ぶちルート (A-1~A-8:約900m)
市民の森の中央に位置し新治小学校から「みはらし広場」の駐車場までを東西に横断しています。
- 旭谷戸ルート (B-1~B-3~B-10~B-9:約900m)
谷戸田や旧奥津邸など旭谷戸のすべてを見ることが出来るルートです。
- 向山尾根ルート (C-5~A-5:約600m)
新治小学校側から熊笹の茂る樹林地を抜けて尾根道に至るルートです。
- 尾根道ルート (D-3~D-15~A-8:約1200m)
市民の森南端の尾根道を行くルートです。周辺は、静かな環境を好む生き物のために保全されています。
- 鎌立谷戸ルート (A-1~A-3~E-1~D-10:約750m)
池ぶち広場の手前から谷戸奥の湿地を回り外周の尾根道に至るルートです。

※詳細は、新治市民の森内、案内表示を確認して下さい。